

社会科（歴史的分野）学習指導案

指導教諭
授業者

- 1、時：平成 29 年 6 月 22 日（木）第 5 時限
- 2、指導学級：3 年 1 組（男子 25 名、女子 15 名、計 40 名）
- 3、場所：
- 4、単元名：国際化する世界と日本

5、単元について

(1) 教材観

本単元では高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などを通して、日本が経済や技術、資源の変化によって国民の生活は向上したことや世界有数の経済大国に成長したことを学ぶ。石油危機が日本に及ぼした影響に気づかせたい。また冷戦の終結により世界は平和外交の推進を進める一方で戦争やテロが起こっていることを理解したうえで国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解させ政治的分野の学習に繋がる内容としたい。

(2) 生徒観

このクラスは積極的に発問に対して答える生徒が多く、授業の雰囲気を作るのできる生徒たちである。鹿し、挙手をして答える生徒に限られてくるため、列で当てることや、指名を行うことで多くの生徒に発言する機会を与え、さまざまな意見に触れる機会を作りたい。また、グループワークや発表を通じて自分の意見を主張することや他の生徒の意見に触れることで自分とは異なった発想に触れる機会を設けたい。

6、指導観

高度経済成長以降は日本の暮らしの変化と公害問題、世界が平和に向かっている一方で地域紛争が絶え間なく起こっている良い部分と悪い部分を学ばせてきた。日本や世界の歴史を学んだうえでこれから日本は世界に向けてどのようなことができるのかを生徒たち自身で考えさせるようにしたい。他の生徒との意見交流の場を設けることで、考えを深めていき自分の意見として表現できる作業が多くある。自分とは異なった意見に触れ、さまざまな視点から物事を考えることができるようにさせたい。

7、単元目標

沖縄返還、中国との国交の回復や石油危機などの国内において節目となる歴史的事象を理解させる。【知識・理解】

高度経済成長、国際社会と関わり、冷戦の終結などを通じて国民の生活の向上し、国際社会での日本の役割は何かを考えさせる。【思考・判断・表現】

8、指導計画

単元全体の指導計画

- (1) 経済大国日本
- (2) 日本をとりまく国際関係
- (3) 激動する日本と世界
- (4) 21 世紀の日本の役割 …本時

9、本時の指導と評価の計画

(1) 本時の目標

- ①石油危機、バブル経済が日本にもたらしたものは何かを理解する。【知識・理解】
- ②日本は世界に対してどのような役割を果たせるかを考える。【思考・判断・表現】

(2) 準備・資料等

- ・『中学社会 歴史的分野』（日本文教出版）
- ・『つながる歴史 大阪府版』（浜島書店）
- ・作成プリント
- ・電子黒板
- ・油性ペン
- ・画用紙

(3) 本時の展開

過程	学習内容	教師の活動	生徒の活動	評価・留意点
導入 2分		グラフの提示を行い グラフからわかることは ないかと問う。	日本の経済成長の推移のグラフを 見て日本の経済成長率の推移が急 激に落ちている時期があることを 理解する。 急激に経済成長率が落ちている時 期に何があったのかに気づく。	日本の経済成長率の推移 のグラフを提示する。 グラフの読み取り 【技能】

展開1 8分	石油危機	石油危機は原油の値上げと輸出の制限によって引き起こされたことを理解させる。	地図の場所から石油が多く産出される地域で戦争が起こり石油の輸入価格が高騰したことを理解する。	以前の学習内容から発問で引き出す。
	バブル経済	日本への影響を考えさせる 流れを黒板に書く バブルのネタで話題になった芸人を取り上げることでバブル経済は景気が良かったことを印象づける。 またバブルという英語から想像できることを生徒にきく。 バブルが崩壊したことでの日本の影響を考えさせる 黒板に書く	→生徒の回答予想 高度経済成長の終了 節約をする ノートに記入する ブームになった芸人のネタから景気が良かったことや「バブル」という言葉によって一瞬で膨れた経済ですぐに終わりがきたことを理解する。 →生徒の回答予想 直ぐに膨らむ、軽い、つぶれやすい →生徒の回答予想 景気が悪い、失業者が増える ノートに書く	石油危機の理由を知る【知識・理解】 平野ノラの画像を提示する。 芸人や言葉の意味から理解する【関心・意欲・態度】 バブル経済を知る【知識・理解】
展開2 20分	国際社会における日本の役割	今起こっている世界での問題は？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">これからの日本の役割を考えよう</div> 日本が世界にどのような役割を果たすことができるかを班で考えさせる。 班になるように指示、教卓に資料や画用紙をとり	→生徒の回答予想 ミサイルや核兵器の問題 世界の人と働く 環境問題 紛争、テロ	日本の役割を考える【関心・意欲・態度】 全員に理解させるため発

		来るように指示をする。	を行う。	表者の指示は事前に行わない。
展開3 15分	発表	10班の全ての意見を聞けるように時間配分を行う。	全ての班が話し合った内容を発表する。	1班1分～1分30秒を目安に発表
まとめ 5分	プリント	班を戻すように指示をする。 本時のまとめをプリントに記入させる。	机を戻す。 本時のまとめを記入する。	日本の役割と問題点を自分の言葉で書くことができる【思考・判断・表現】 生徒がまとめを書けているようであれば発表させ回収、書いていなければ宿題とする。

10、評価基準

プリントのまとめに書かれている内容をもって評価する。	
A	本時の内容に沿った独自の視点、表現の部分が見られる内容が書かれている。
B	本時の狙いとは多少ずれているが、自らの考えを書くことが出来ている。
C	本時の狙いと明らかにずれている場合、または白紙の場合

11、評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
国際社会における日本の役割に関心を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。	歴史を学んだうえで現代にどうつなげるかを多面的・多角的に考察し、適切に表現しようとしている。	グラフから歴史的背景を読み取ることが出来る。	石油危機、バブル経済を理解し、その知識を身につける。